



新武乃傳來記

七

3270
1



特
3270
1



好文堂

新成道徳家紀之序

秋津湖の風茂あきつうみ中の文字なまと喚傳あやぶするを鳴なれ
 海うみと折をりかゝる海うみを海うみの海うみ波なみ静しずかかぬは代よの俗しよ
 仁義にぎぎを大おほ文字なま小こかゝる患うれ位ゐを天てん外がいの額がくも患うれ
 く血ち女によ七しち女によ志しの海うみより習ならふをを行なふ海うみ家けの
 帝てい子し合あ口くちをを歡かん世せいよりよりくくいいらられれたたののつつも
 後のちねねををららずず小こ水みづををううりりくくああねねががここををかかととか
 免めんももふふりり小こ梅うめをを蔓つたのの田たよりより聲こゑ〜〜く



以門

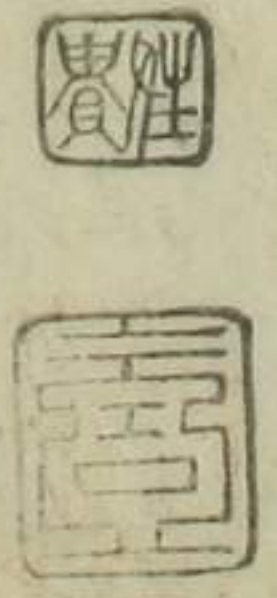
詩寶堂

昭和十一年
四月二十八日
購求

終身を松松に強きつゆなり霜雪より
 海を想をのが操を立切し心をまの民
 りゆはらひまらうあはれを巻舟をたし
 を彫く文れむさうとれに苦をま蔵み傳へ
 よやふふ御となりし

聖倉竹所別ある和國民作る末孫某
 焉

寶永二年乙酉 孟秋下旬



新武道傳來記

卷一

諸國歌討

目録

才一 誇々心中乃蟲我身れ毒飼

怒釋とめめ盤れさくは

才二 楊ららの秘傳志賀士

袖うらららよ上野乃邊



才三

兵法の町人乃大疵

禍は是れ鳥の起る蔵人

武乃傳来記卷一

諺ハ心中の盡我乃の毒飼

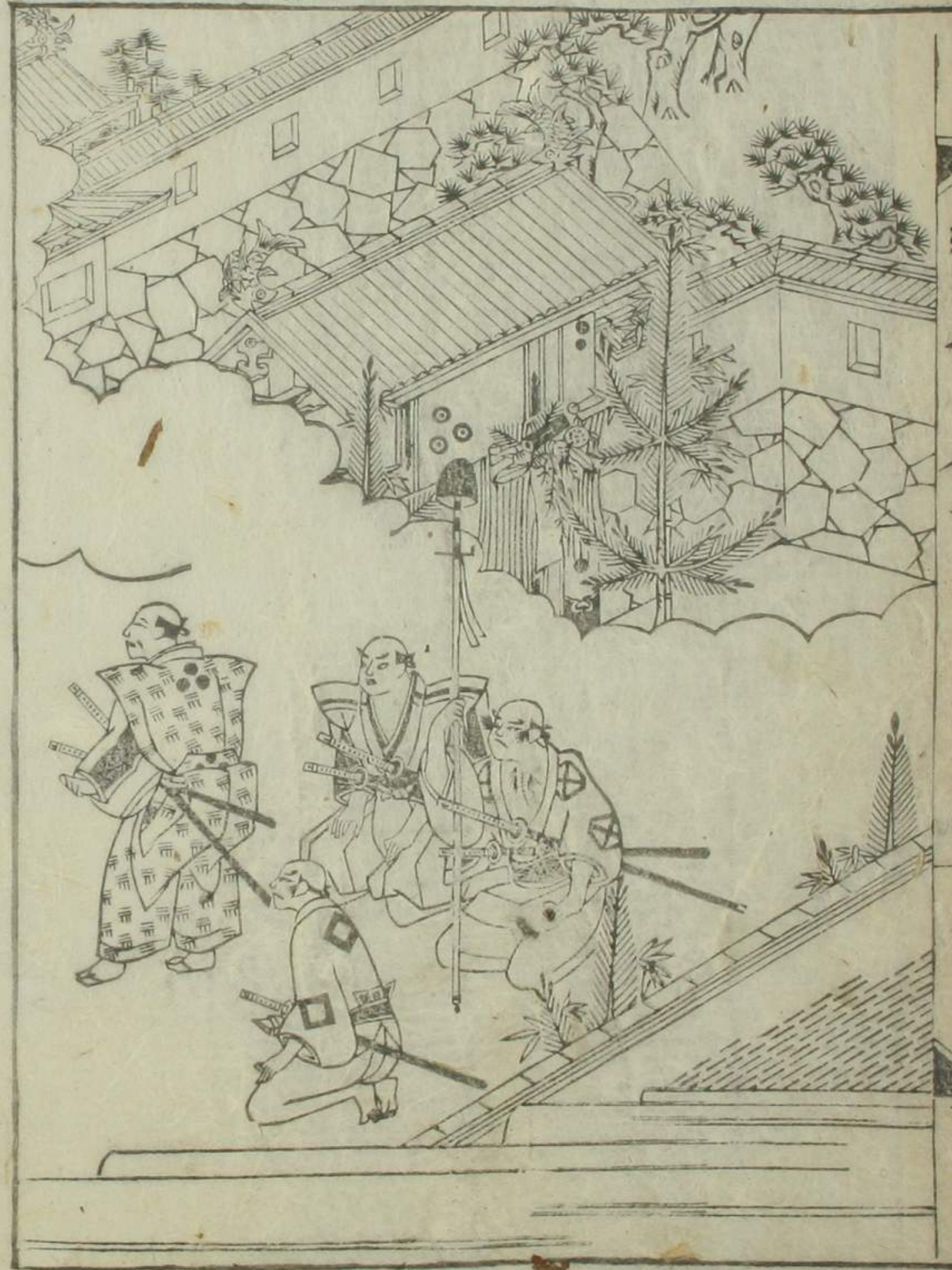
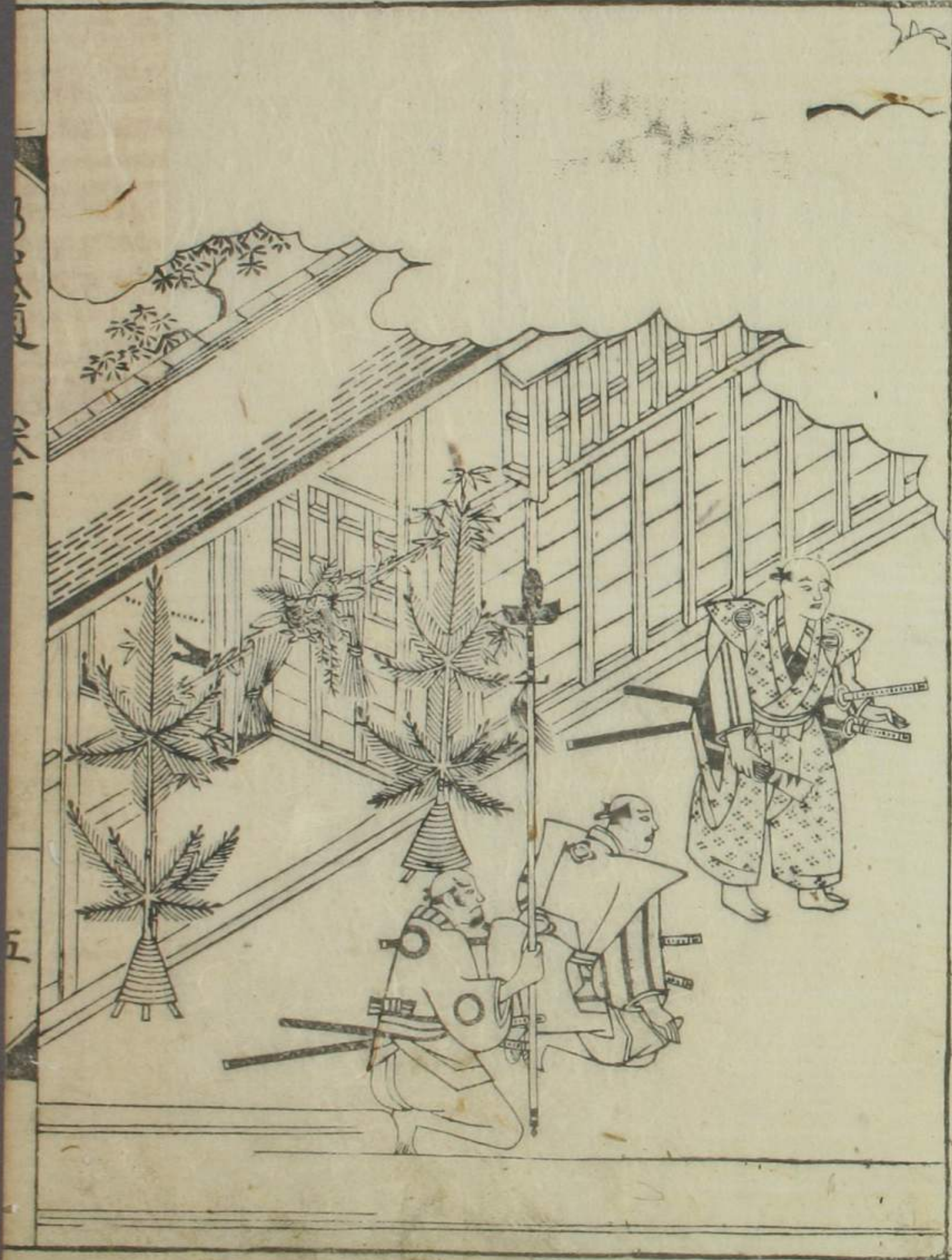
ゆゑに後乃幕長宗より引まんとし大子に松の蔭に
掃除しとるふらにつらとんとるふ板の代り
今よりお代乃坂もは同しと西の玉大家中に
いそよとよりく城下ののまよりあぢくお日
堀のどろ龜と月一やりに藤くらぶひて川
ぎ乃穴の丸を凌ぐまぐ今年に若ぬれ入部
此思のりつたすふあどんむくも
縁のいもむきまぐか
業の志乃ぬのこしりたりやとく較子窮屈の

下地同じ持病のうーありそりおやりいそはせす
上下のなりめそとくふはけりあゆみのまことやうく
年頭の内祝儀のよなる。家老用人とりめて
中のおまむらゝぬらんごんれをさなり。丸薬つがとひ
のけしめはけしれといあてて。いふもと改色とこと
徳傍寮しり細て。さきより又江戸の年始の年始よ。
改子の仲き目おなぬ殿様益御機嫌と祝し。
路くよハ枝入しめると指おへ。おまゆり役松平殿
せも物に相徳わくおハ但以の平儀久保。い存お坂
ぬめ他の上ははなまら。物おととより足輕の男さ
づそそりす。おろき殿の宝路つごそあさ。いよより

と海の波れあつたあつた代のちあーうぐれし。かくて
日ぐはうそく太の返報お取し。まゆやあつた松平
次左衛門が方へは返報きとこと。おまの目下お丸薬つ
が名おとと。いあてて見接どくんまの礼儀のうりそ
お。是月御座の下祐筆が筆つこと。ハめいりやと
約ひひらあおれささびまよりあつたさささといふれ
か。丸薬つなりしよりあつたさささ。いあつたは
か。いり引けく。侍のめととより男。いあつたは
は。いり引けく。侍のめととより男。いあつたは
このくし。おまとめ。いあつたは。いあつたは
まの。いあつたは。いあつたは。いあつたは。

家よりかくし帯^{おび}んとわらわめをつけし世の端^{はらば}をもと
とらゆへよ。は^は恥辱^{ちじよく}とこあらふるもどしとわらわ年
の恥^{はにか}と遠^{とほ}はよへと。幸^{さい}に世^よ憐^れれ十^じ命^{めい}りも道^{みち}より
んほ^んひま^まれま^まり。悪^{あく}量^{りょう}あり。とら^{とら}るや女^めみ
か^かき^きど^どい^い女^め代^{だい}の^はは^はら^らる^るも^もく^く隠^{かく}居^まり^りわ^わが
何^{なに}と^と式^{しき}と^とゆ^ゆづ^づび^びや。先^ま人^{ひと}と^との^し物^{もの}業^{わざ}あ^あが^がし^しれ
色^{いろ}そ^そく^く世^よ間^まふ^ふさ^さ。切^き乃^の肉^{にく}と^と骨^{ほね}の^つら^らる^るか^かも^も
わ^わの^の秘^ひど^どみ^み乃^のよ^よら^らり^りて^てい^いわ^わく^くし^し秘^ひの^のあ^あへ^へ
ゆ^ゆも^もか^かく^くも^も若^わ殿^{でん}の^江戸^のい^い集^じ勤^{ちん}の^まど^ど又^{また}大^{だい}な^ない^いし
ま^まゆ^ゆり。久^くは^は今^{いま}乃^の出^で依^いたり。ま^まと^とあ^あら^らひ^ひい^いま^まれ
や。年^{ねん}始^し怖^{おそ}の^起事^{ごと}九^く左^さ落^{らく}つ^つ方^{かた}へ^へセ^せが^がり^りし^し事^{こと}。こ^この^この^の

ぬ^ぬ秘^ひんと^を流^{なが}す^すい^いく^く石^{いし}洞^{どう}法^{ぽう}て^て向^{むか}り^り入^いる^る玉^{たま}極^{ごく}の^たら^ら
ま^まい^いめ^めく^くれ^れ救^{きう}と^はく^くして^{して}九^く左^さの^つが^がお^おる^る秘^ひ村^{むら}ま^まま^ま
倉^{くら}橋^{はし}十^{じゆ}集^じの^あけ^けの^せん^ん。か^かう^うも^もの^の傷^{けが}人^{ひと}あ^ある^るゆ^ゆへ。
家^か老^{ろう}司^し人の^の機^け嫌^{きら}と^そり^りも。向^{むか}して^{して}組^{くみ}み^みれ^れま^まふ^ふり^り。
る^るや^や二^に人^{にん}と^と九^く左^さの^つが^がお^おる^る人^{ひと}の^の使^{つか}ひ^ひま^まの^のみ^みづ^づい^いと^とけ^けれ^れ一^{いっ}れ^れの^の
もの^{もの}と^とい^いき^きま^まる^るゆ^ゆへ。あ^あと^とで^で九^く左^さの^つが^が一^{いっ}向^{むか}ひ^ひと^とけ^けが^がら^ら
心^{こころ}へ^へあ^あま^まい^いづ^づと^とい^いら^らり^りま^まり^り。祈^{いのり}の^のつ^つら^らい^いもの^{もの}の^のあ^あら^ら
危^{あや}し^しき^きに^にあ^あら^らり^りあ^あら^らり^りと^との^の出^で換^か換^かへ^へ却^{かえ}て^て痛^{いた}入^い
こ^こら^らあ^あら^らり^りあ^あら^らり^りの^のあ^あら^らり^りと^とわ^わら^らい^いと^とわ^わら^らい^い入^いる^るし。
う^うか^かみ^みと^とあ^あら^らり^りし^し。ゆ^ゆふ^ふし^しの^のあ^あら^らり^りの^のあ^あら^らり^りして
向^{むか}く^く荒^あら^らし^しと^と用^{もち}ら^らる^る世^よの^のま^まい^いあ^あら^らり^りの^のあ^あら^らり^り皆



新編 卷一

くのとてしと。はらうらうとつふあくと。二人がもてあつた人の
 上はとて移んでどりもが私欲の所ちなるに引をえん
 ちやうちとてつせうのあつちしうなつと合字は
 があへん腕のれよ。つらり乃尾とつぎ虎よらまらるれねと
 るわしてどきゆげき徳とくまん完心が久ほとてい
 のうひてとてはとあせとあきとてとてとてとてとてとてとて
 ものあひ移は平はこれとまきより大は慢と侍の教
 とまてとてびとらるるびとをかくらるるものといふより
 ふんぐ徳とのとてあな徳とていふるに寸の舌とて
 大なる沖前ゆきやうにらとてとてとてとてとてとてとてとて
 みたれうだいつのあななとてとてとてとてとてとてとてとてとて

徳信の徳とて其に殿乃むじいにあつたより。やがてあ
 九右衛門が宿所と打つげ。お中のむとてつおん完心が
 ちんとてうらよ。ほせのあつちとてあせやうと。批判
 とらへあへびとてのうは。新とてまきとてまのどくがう。
 かまがえ徳とてあめふりて。お隣の徳子あ七おるれ
 松中次左衛門。おと人志のまらとて酒を自ぬにぬり
 えんがあともふかりして。徳子の徳子の徳子。九右衛門
 酒とてぬ。大なるのあせ腹つよとて。え徳とてとてとて
 ろんきとて。つとてとてとてとてとてとてとてとてとてとて
 とす。服友乃英徳とて。まにまにとてのりて。今宵の情
 と徳の徳とてとてとてとてとてとてとてとてとてとてとて

りりぬり。九右衛門の惣領の九右衛門。才代九右衛門とよんで
 せうふみ疾し。わきごとをい科かやして切腹のころ
 けい。も皆洗者のあすきりもの仇いふはふし。や
 ろく立退て家へ回し。死にまふ。あうし。いふや
 の和と男にうをてし。二女ハ我が罪の死と巧めたる
 洗人首きり。父の墓にまわして。そのおの肉ふ
 兄弟のみらふ。善代のみ堂白本清亮し。えつもの
 おきて。九右衛門の屋敷と。あうせり。二人のみごと。父が
 命じり。一玄のおもに切腹まきり。父と母をて
 こんげと。隠しあり。大敵の四立腹いふ。あう
 ぶのまう。秘し。家老。勝人乃れ。つさ。父のふし。まきり。

江戸より。や。お柳。あ。飯桶の。お。伝。云。と。用。い。を。う。か。ん。
 大目付内。夜。す。命。た。違。つ。松。村。彦。四。郎。あ。ん。の。換。使。う。し。
 九右衛門の切腹。よ。あ。じ。ぢ。り。兄。才。の。み。と。と。し。同。罪。と。作
 知。り。ま。じ。ぞ。の。行。方。を。ま。違。は。し。り。よ。あ。う。父。乃。死。と。み。ま
 け。あ。し。り。隠。病。ま。の。あ。ま。う。し。て。あ。ひ。ま。う。し。
 き。う。べ。し。と。作。付。ら。ま。し。え。ん。し。と。ん。ご。九。右。衛。門。が。後。家。と。ハ。
 子。し。し。が。お。か。ま。ま。く。れ。人。質。と。し。て。ま。親。田。を。た。り。益。は。い。ひ
 ち。く。お。柳。の。あ。り。か。く。ま。九。十。右。九。七。右。兄。才。れ。ま。の。ま。は。い。
 今。約。九。右。衛。門。の。切。腹。よ。事。極。極。し。し。よ。あ。う。ま。の。め。か。あ。ハ
 寛。文。元。年。八。月。廿。八。日。考。我。兄。才。う。父。乃。子。に。討。つ。り
 あ。し。お。か。ま。し。を。不。儀。な。ま。事。以。久。保。り。あ。ま。へ。や。よ

且ふ二人をぢびり。久保子孫五郎と何のひまめく
 まり。病しゆいひ。ゆきまき。廿九日。久保。今宵討せ
 ー。その首れを。いひ。うら。定て。九十。兄弟。才が
 仕。い。あ。い。その。日。昼。一。家。老。の。安。夜
 和。礼。方。二人。の。看。守。の。業。目。一。秋。木。父。の。死。と。ま。す
 妻。逐。ま。る。ふ。あ。す。平。次。久。保。と。あ。も。私。乃。を。礼。と。り
 日。ど。の。お。越。逐。り。ま。ん。て。い。お。ま。り。あ。侍。た。ま。わ。け
 る。か。誰。と。い。ひ。く。人。以。難。し。その。誰。と。の。か。う。け。い。し
 一。と。許。此。上。い。や。う。と。も。の。飛。ね。が。ま。さ。る。市。し。つ。い。お。礼
 こ。し。い。大。よ。う。な。つ。と。あ。人。の。去。と。ま。ま。に。つ。り。り。と。こ。
 う。う。い。は。家。中。誰。人。乃。か。ら。い。め。人。と。そ。い。い。て。は。我。と

う。ゆ。と。の。飛。ゆ。ま。ま。あ。り。と。大。殿。の。出。得。心。あ。り
 飛。ま。り。理。と。い。う。と。か。に。い。怒。志。の。ゆ。り。く。い。し。ゆ。を
 せ。り。め。く。お。信。つ。が。飛。あ。ま。よ。の。身。と。あ。い。一。そ。い
 出。不。使。忽。感。い。お。が。い。め。と。より。九。十。あ。兄。才。が。あ。り。こ
 非。妙。の。美。よ。せん。き。花。り。あ。ま。よ。の。く。九。十。悪。つ。う。あ。り。或
 ぬ。百。石。お。遠。め。才。れ。九。七。命。別。は。新。知。二。百。石。は。作。付。
 梯。村。を。ま。支。倉。橋。十。と。果。也。あ。人。が。誰。志。の。根。が。ふ。る。あ。と
 あ。り。い。ま。あ。の。田。が。あ。り。つ。あ。り。そ。あ。り。ら。び。こ。ま。で。も。と。足
 あり。あ。ま。は。傷。人。乃。う。信。あ。り。ま。の。ざ。り。と。ま。す
 橋。が。り。の。秘。傳。志。が。あ。り。士
 場。上。の。板。乃。の。下。より。麻。生。町。が。ら。が。あ。り。し。り。あ。り

まゐる。町おとゆりき繁栄まつてく。物産の盛んまつる。
氏乃竈のつらつれよつせよ。おののめめて糞まれのく。
るやれよてでるよ。薪と。あつ。漬して買人のおにう。
まて。船よそよ。漬乃よをなほと。近路よまうつう。
あ乃ち場とみまし。うりやし。よ。物びひあへて。茶ま。
はな。り。一。回。留。ひ。は。荒野の大墓。遠せの録に。人。
あ。ん。ち。あ。ち。ら。ら。ら。が。み。ま。た。す。り。水。陸。乃。あ。ご。い。急。葉。
乃。子。御。ま。き。く。一。三。物。ま。り。は。あ。す。り。の。ま。ご。ま。お。と。海。ん。く。
あ。り。地。鼻。坂。北。西。十八。間。南。北。五。里。と。云。つ。を。な。る。伊。勢。屋。が。
あ。り。り。芽。が。勢。駕。り。う。ら。ん。む。は。お。い。ひ。て。を。ど。り。か。り。か。り。と。い。
海。人。の。よ。い。む。す。お。め。と。海。一。き。ん。不。自。由。中。の。う。ふ。う。い。

お。ぬ。く。人。化。ま。の。い。ご。よ。ま。ら。ま。の。そ。め。り。と。こ。ら。り。
よ。り。の。う。ら。う。う。う。う。う。あ。ま。の。ん。あ。ま。ま。の。む。び。お。り。ま。は。
あ。り。ひ。い。らん。せ。あ。を。よ。ろ。と。して。ほ。げ。せ。は。お。い。六。親。父。母。
ま。せ。の。う。ら。い。が。そ。め。り。と。い。ひ。の。ま。の。め。つ。ひ。の。そ。め。り。
よ。ま。め。い。れ。あ。ら。う。う。う。う。う。あ。み。そ。く。め。ま。あ。り。ひ。の。場。ご。ら。
あ。り。ひ。と。よ。の。む。らん。あ。や。い。け。り。物。と。ま。に。う。ら。い。あ。
あ。り。ひ。い。と。と。あ。び。の。う。い。女。の。若。れ。う。ま。よ。う。い。う。う。い。
あ。ら。う。あ。ら。う。の。せ。び。し。と。せ。ら。れ。候。と。う。ら。ま。の。し。と。お。め。り。
あ。ら。う。あ。ら。う。し。つ。み。た。ら。う。あ。ら。の。せ。ま。の。た。ら。い。と。い。う。あ。ら。
あ。ら。う。あ。ら。う。の。ら。う。あ。ら。う。の。あ。ま。ま。の。あ。ら。う。あ。ら。う。あ。ら。う。
あ。ら。う。あ。ら。う。い。ら。う。あ。ら。う。あ。ら。う。い。ら。う。あ。ら。う。あ。ら。う。あ。ら。う。

う。ら。い。あ。

あ。ら。う。

あ。ら。う。

あゆむり不とちり。わろく上列佐野の遊不本飾あきま
 旅人月まきまふかきみあり。赤橋中川の宿やうて。
 盗賊付入こと下七人うまの切殺して。荷物三十二駄
 すべて奪のらふまうしかつきたる。雷のゆるは乃又ぢあうバ
 中みはくはあともありふもして。今日あうはりておらあさの
 御りりまよりこしてあひひよあうみやまれのこり。先どおにじ
 まのらにかりく。車軸ともあふふまふの嘆。
 ぐんものてゆいたやう。おんのおぬりのよつて。何来よま
 並一ふおし。たよりおま。御かのあうと一のとあこまぬ
 ふりくう盗人かり。大アの薩人のらり。おきしる。二宿
 ありしかり。宿のめのうく。らんき。川のあいらんま。と。

悪くかぐらやま。うらん。ま盗人の中。うそやうらん。
 む人のま。姉ま。まの。わの。う。ゆ。あ。し。を。決。の。地。必。
 まの。あ。して。あ。よ。い。じ。お。ら。う。の。池。あ。げ。し。か。ら。し。と。う。孫。バ。
 い。い。く。ま。と。い。お。し。つ。せ。り。わ。く。か。ら。ん。ぎ。の。よ。う。ら。と。し。め。こ。
 不の。系。れ。と。て。し。う。う。ま。よ。延。實。に。平。兩。辰。三。月。五。日。同。約。
 三人。と。野。必。無。谷。村。に。化。は。久。次。と。あ。ら。う。せ。ん。き。そ。の。ひ。り。あ。り。
 先。は。久。次。と。あ。ら。う。か。り。て。傳。る。町。乃。頼。屋。と。い。ふ。説。法。を。
 う。ま。の。妙。は。を。天。乃。網。は。と。か。て。白。羽。の。う。り。申。ら。る。乃。
 盗人。と。す。ぬ。人。一。し。許。人。て。は。あ。の。ま。に。あ。り。と。あ。く。す。と
 あ。み。く。この。下。ま。の。あ。る。ま。ま。は。く。け。い。と。申。人。乃。下。れ。
 う。む。り。り。の。う。れ。と。あ。ら。う。か。し。か。ら。と。り。て。ゆ。ん。と。

けしきの神子かひしきくぬわらりさぐー^せせもぢやのみられ
 蛇のどし。さうしてかきとまてはへふをどかうく
 ちやせもど尻がうに取らぬもの多し申はしごうもの
 唐印しつゝ天名つづくゆいもの^{おん}お名は足利のこれゆき
 ちよが中るれさうどりちやも^ああ久改ごさうりかんごう大さ
 ちらぬよかのこれ一人のさきさきと方くまはれに
 三田村の麻生もさうりさきさきと^ああ久改ごさうりかんごう大さ
 世の中いぬさうりさきさきと^ああ久改ごさうりかんごう大さ
 ちらぬよかのこれ一人のさきさきと方くまはれに
 三田村の麻生もさうりさきさきと^ああ久改ごさうりかんごう大さ
 世の中いぬさうりさきさきと^ああ久改ごさうりかんごう大さ



つまの。さういふ十のわたり。老の歯よあはれ。し
 とらやの。ぢやうの。こころいふ。海に。去さう。や。甲く。一。冊
 うりや。や。こころいふ。わたり。酒さひ。内。れ
 の。つ。かん。そ。り。く。運。命。屋。の。常。念。り。く。屋。の。貞。妻。と。人
 れ。同。じ。ま。の。屋。き。乃。本。屋。町。ぢ。い。り。松。原。ま。の。町。海。お
 ま。ど。れ。の。ま。か。の。ひ。さ。ら。い。き。ご。ん。び。し。ぢ。が。ゆ。つ。つ。あ。よ。れ
 こ。う。た。よ。か。ん。き。ん。ご。ん。と。う。ら。わ。と。と。て。あ。や。と。せん。乃。絲
 ぢ。あ。つ。ま。門。の。二。つ。つ。と。ゆ。り。と。う。は。陽。れ。の。は。い。れ
 六。十。法。昨。梅。よ。似。た。う。や。に。し。頭。中。も。の。縁。に。引
 こ。れ。ご。よ。や。つ。え。は。い。し。ろ。と。か。の。ハ。あ。う。や。ま。さ。い。は。い。
 そ。う。い。の。い。く。そ。う。か。も。も。の。真。じ。や。い。つ。い。も。の。く

仍。祇。園。の。神。若。と。ハ。換。さ。ぬ。よ。ぢ。み。と。そ。つ。と。こ。人。よ
 こ。の。麻。屋。を。柏。子。う。海。へ。ぢ。う。と。の。う。た。よ。の。ぢ。ん。が
 む。い。の。か。ご。り。あ。い。し。出。な。げ。う。う。そ。よ。と。つ。た。ま。が
 感。じ。う。ら。ま。る。会。仏。あ。う。う。め。さ。も。と。も。ま。い。く
 つ。ひ。い。は。ご。う。し。て。う。つ。お。酒。に。吞。ま。だ。こ。と。し。ぢ。う。ら。と。の
 穢。き。の。い。ま。く。ま。だ。ま。外。ね。を。足。の。な。が。い。し。を。あ。い
 ぬ。し。や。し。つ。ひ。す。ぢ。う。す。し。香。の。さ。ぬ。あ。り。で。茶。を
 一。庵。ん。の。ぢ。ん。も。て。ぢ。う。う。を。と。し。て。れ。ね。け。う。ね。さ。り
 た。ろ。う。で。し。わ。さ。う。う。を。な。や。に。その。ひ。と。う。ひ。な。お。し。
 は。が。す。に。ぢ。繩。の。あ。た。み。丸。い。着。板。の。あ。り。た。不。
 ち。ハ。元。信。屋。を。け。て。ま。へ。く。十一。層。ぢ。ご。も。の。お。ん。り



いふやわらん療治のよ死解まつと引あつて
從せ人^{トキ}ありて。家^{トキ}へしちをねてあつたけとたれ
ぬあつてを治政道とせおひく^{トキ}の死しとる人
かあひつまの神^{トキ}給^{トキ}と人のあつたにありら
ますあひあつて武士^{トキ}のあつたにありら
長^{トキ}劔^{トキ}といふと吟味つとあつたにありら
い^{トキ}てあつたにありら果^{トキ}い^{トキ}ばとる^{トキ}け^{トキ}ら
ら^{トキ}

好文堂

江戸四日赤
古今珍書館

